

## も く じ

本号の内容	1
〈コメントと応答〉	
書評 有馬斉『死ぬ権利はあるか——安楽死、尊厳死、自殺幫助の是非と命の価値』	
	品川哲彦 5
品川哲彦先生の書評への応答 Part I	有馬 斉 18
有馬斉氏の当日のリプライにたいするコメント	品川哲彦 27
品川哲彦先生の書評への応答 Part II	有馬 斉 32
拙評「有馬斉『死ぬ権利はあるか』」に関する誤解とすれ違いについて ——あるいは、倫理学の論文を書くということ	品川哲彦 41
〈論 文〉	
鎮静の倫理を検討することの意義について	有馬 斉 64
『認知症患者安楽死裁判』の投げかけるもの	品川哲彦 74
〈書 評〉	
フェミニスト現象学の「限界」 ——稲原美苗・川崎唯史・中澤瞳・宮原優編『フェミニスト現象学入門』を読む	
	魚住洋一 90

表紙の写真の説明 かつて裁判所に使われた建物の表示。  
天秤が正義を象徴している。(ドイツ、ニュルンベルク)